

■用語説明

- ▶**資本費平準化債**…下水道事業は先行投資により施設を整備するため、その負担をすべて使用者に求めると、下水道使用料を高くせざるをえない。その対策として資本費の一部を後年度に繰り延べるために発行する企業債(借金)のこと。
- ▶**内部留保資金**…減価償却費など、実際にお金の支出がない費用計上によって生じた資金のこと。
- ▶**減価償却**…「高額で、長期にわたって利用できるもの」を数年・数十年にわたって少しずつ経費として計上する仕組みのこと。

額を行いました。それでも県内では比較的安い料金を維持していたんです。下水道の経営には、使用料金の他に皆さんの大切な税金も使われています。それが一般会計からの繰入金といえます。

**さつき** えっ？それってどれくらいの税金が使われているの？

**太郎** 下水道事業では、建設負担金や使用料金の不足する分を、一般会計から繰り入れし、収支バランスをとっている状況です。平成15年度の5億8000万円をピークに、現在も4億円を超える多額の繰入金を継続しなければ収支が保てない状況にあります。平成30年度では4億3000万円と円なっています。さらに、当町では返済財源がないことから資本費平準化債を活用しており、これを利用しなければ6億円を超える繰入金が必要になります。

借金は減らしているのに、なんでまたお金を借りるのかな？

**さつき** 私たちの税金はそういう所にも使われているんだね。状況は分かったけど、改定前に値上げしないように工夫はしなかったの？

**太郎** 町では、これまでの経費削減の主な取り組みとして、組織の見直しによる人件費削減や事務の効率化、さらには平成20年度から21年度に国の制度を活用し、金利負担を1億5100万円下げることができました。これにより費用削減ができ、その分一般会計繰入金を抑え、その後の料金改定を据え置く効果がありました。今後は、農業集落排水処理施設について施設更新に多額の費用が見込まれることから、施設更新費用を削減するため、処理施設は更新しないで管路を公共下水道へ接続する方法を検討しています。このように、更なる事業の効率化と費用の削減等に取り組んでいきます。

**さつき** 町でも工夫して、私たちの負担が増えないようにしてくれていたんだね。でも、私たちは使用料のほかにしっかりと税金も払っているから、一般会計からの繰入金をもっと増やして値上げしないって

ます。

▼下水道事業  
▼町道野田前野線改良工事に伴う布設工事▼街地区の管路長寿命化対策工事▼遠谷中・二ツ森地区農業集落排水施設下水接続工事▼北方地区農業集落排水施設下水接続工事▼国道4号拡幅工事に伴う移設工事

■農業集落排水  
▼三ヶ尻地区機械設備機能強化対策工事▼北方地区機械設備機能強化対策工事▼中継ポンプ更新工事■浄化槽

**さつき** いろいろ整備が必要になってくるのね。でも、快適に使用するためには必要なんだよね。

ところで、金ヶ崎町の上下水道料金は、岩手県内の他の市町村と比べると高いの？

**太郎** 県内の自治体と比較すると、金ヶ崎町の上下水道料金は県内では19番目の位置でした。これが料金改定後は8番目になる見込みです。

**さつき** へー。金ヶ崎町はそのくらいの位置なんだね。

**太郎** 前回の改定は、平成20年に公共下水道では約30%、農業集落排水では71%の増、

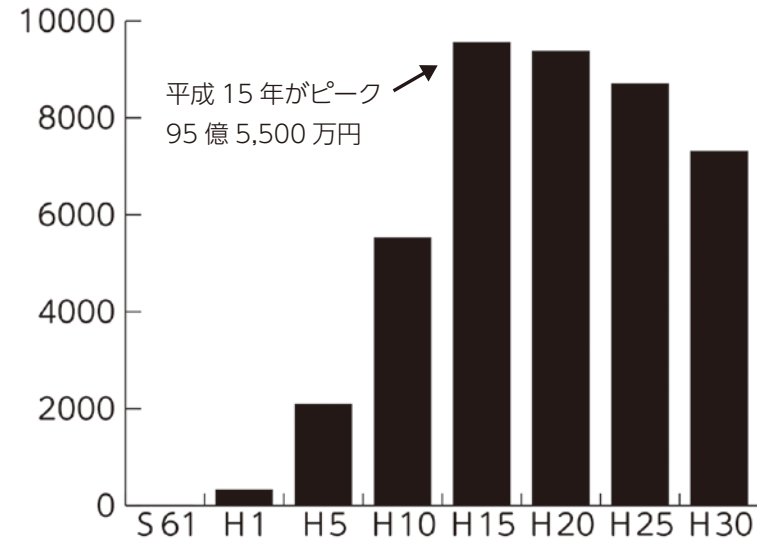
これはできないのかな？

**太郎** 下水道事業は独立採算での経営が基本ですが、現在は一般会計からの繰入金と借入金に依存している状況です。一般会計からの繰入金を増やしてしまうと、進行する少子高齢化対策のための子育て支援・高齢者福祉、公共施設の維持管理・更新等が今後必要となる中、行政サービスに影響を及ぼしてしまいます。平成28年度の人口1万5850人に対する一般会計繰入金4億1900万円は一人当たりになると約2万7000円です。今後はこれを基準に、人口減少に合わせて、一人当たり繰入金を2万6000円程度で維持することを目標とし、一般会計からの負担を増やさない経営を行っていきます。

**さつき** なるほどね。今回の料金改定は、私たちの暮らしを守っていくためには必要なことだったんだね。

**太郎** その通りです。料金改定は皆さんに理解してもらわなければならないので、まずは町の状況を知ってもらいたかったんです。聞いてくれてありがとうございます。

企業債残高 (単位：百万円)



下水道の経営状況と今後の見通しを知ってほしい

**さつき** 整備のために借金をしなければならぬと言ってたけど、今のくらいの借金が残ってるの？

**太郎** 平成30年度末時点で企業債残高は、約73億1000万円です。返済には、維持管理費で使用料収入を全て使ってしまうため返済財源が無く、一般会計からの繰入金と資本費平準化債(返済する為の借入)、更には内部留保資金(減価償却費等)を取り崩して返済している状況です。

**さつき** 借金はピークからは減っているように見えるけど、経営は順調ではないの？

**太郎** 借金は減ってきてはいます。しかし、「一企業会計」の平成30年度の決算全体額では、収入が11億6800万円に対して支出が13億9500万円の赤字会計となっています。支出額に対して収入額が不足する時は、内部留保資金で補っていき、本来、内部留保資金は、将来の管渠および処理場施設等の改築更新に対する資金として積み立てるものです。町では、内部留保資金を当年度分の償還金補てんと翌年度の償還金補てんほとんど使用するため積み立てが出来ていない状況です。

**さつき** 厳しい状況には変わらないのね。だから値上げが必要ってことね。

でも、内部留保資金を積み立てできなくても整備しなきゃダメな施設もあるでしょ？

**太郎** そうなんです。金ヶ崎町は、平成3年度から平成14年度にかけて集中して下水道整備を行ったため、今後、次の施設の改築更新が見込まれ

ます。

▼下水道事業  
▼町道野田前野線改良工事に伴う布設工事▼街地区の管路長寿命化対策工事▼遠谷中・二ツ森地区農業集落排水施設下水接続工事▼北方地区農業集落排水施設下水接続工事▼国道4号拡幅工事に伴う移設工事

■農業集落排水  
▼三ヶ尻地区機械設備機能強化対策工事▼北方地区機械設備機能強化対策工事▼中継ポンプ更新工事■浄化槽

**さつき** いろいろ整備が必要になってくるのね。でも、快適に使用するためには必要なんだよね。

ところで、金ヶ崎町の上下水道料金は、岩手県内の他の市町村と比べると高いの？

**太郎** 県内の自治体と比較すると、金ヶ崎町の上下水道料金は県内では19番目の位置でした。これが料金改定後は8番目になる見込みです。

**さつき** へー。金ヶ崎町はそのくらいの位置なんだね。

**太郎** 前回の改定は、平成20年に公共下水道では約30%、農業集落排水では71%の増、

下水道使用料改定にご理解とご協力をお願いします。

■お問い合わせ先  
水処理センター  
☎ 44-2136

今日は町の状況を知れたから、改定内容も納得できたわ。説明してくれてありがとう！

分からないことがあったら何でも聞いてください。問題を解決し、皆さんで住み良いまちをつくりましょう！

皆さんにご負担をおかけするのは心苦しいのですが、やらなきゃいけないんです！

より良い環境づくりのため、皆さんのため、下水道事業の経営強化に努めていきます！

借金を返しながら整備を進めるのって大変なのね。でも私たちのための整備だもんね。

住み良い環境づくりのために頑張るね☆